

平成30年度

2年次(現1年次)
商学部ゼミナールⅠ紹介誌

[2次募集以降]

九州産業大学 商学部
観光産業学科

ゼミナールの履修について

I. ゼミナールとは

- ゼミナールとは、指導教員の専門分野を少人数で学習する授業です。
- 具体的な学習内容は、プレゼンテーション、特定のテーマについての研究、専門書の輪読、グループ討論などです。ゼミナールによって学習内容は異なりますので、詳細はゼミナール紹介誌を読んでください。

II. 2年次以降のゼミナール

- 2年次：ゼミナールⅠ（通年4単位）
- 3年次：ゼミナールⅡ（通年4単位）
- 4年次：卒業論文ゼミナール（通年8単位） or ゼミナールⅢ（通年4単位）

III. ゼミナールの履修に関する注意事項

- ゼミナールⅠ、Ⅱは選考があるため、必ず希望するゼミナールに所属できるとは限りません。
- 4年次の卒業論文ゼミナール or ゼミナールⅢは、ゼミナールⅡの担当教員が受け持つことになっています。ゼミナールⅡの担当教員が4年次に卒業論文ゼミナール or ゼミナールⅢのどちらを開講するのかはゼミナールⅡの選考時にゼミナール紹介誌などで確認しておく必要があります。
- 卒業論文ゼミナール、ゼミナールⅢは、ゼミナールⅡの単位を取得しないと履修できません。
- 4年次の卒業論文の単位を取得するためには、決められた期間内に卒業論文を提出しなくてはなりません。
- ゼミナールⅠ、Ⅱ、Ⅲ、卒業論文ゼミナールは、商学科と観光産業学科の共通の科目なので、商学科の学生が観光産業学科のゼミナール、観光産業学科の学生が商学科のゼミナールを受講できます。また、商学部第一部と商学部第二部の間で他学部受講が認められています。

ゼミナール選考の流れ

【2次募集】

■ 3月12日(月)～16日(金)：エントリーシート提出期間と「選考詳細」掲示

- K's Life または 1号館 8階の商学部事務室前（または渡り廊下）にある箱からエントリーシートを入手し、エントリーシートを作成して下さい。
- 作成したエントリーシートは、3月12日～16日の期間内に以下の場所に設置してあるエントリーシート投函箱へ提出して下さい。

投函箱設置場所	建物・階	受付時間	
		平日	土曜日
商学部事務室前	1号館8階	9:00～16:30	9:00～12:00
教務課	1号館1階	17:10～21:00	9:00～12:00

- 選考についてゼミナール担当教員から個別に詳細な指示（「選考詳細」）がある場合は、3月12日以降、8階の各教員の研究室の扉に掲示します。自分が希望するゼミナール担当教員の掲示を必ず確認して、その指示に従って下さい。
- 3月12日に8階の各教員の研究室の扉に2次募集用「面接時間予約表」を掲示します。
- エントリーシートには、各教員の面接時間予約表に記載されている「面接時間予約番号」を必ず記載して提出して下さい。

■ 3月19日(月)～23日(金)：面接日と結果発表および3次募集の有無の発表

- 面接は上記の期間に教員の指示する方法で行われます。
- 2次選考の結果は、3月23日までに教員の研究室の扉に掲示されます。同時に、その教員が3次募集を行うか否かが掲示されます。3次募集を希望する学生は、その希望するゼミナールの担当教員が3次募集を行うか事前に確認しておいてください。

➤

【3次募集】

■ 3月23日(金)～：「選考詳細」掲示

- 希望するゼミナールの担当教員が3次募集を行うか事前に確認しておいてください。
- 選考についてゼミナール担当教員から個別に詳細な指示（「選考詳細」）がある場合は、3月23日以降、8階の各教員の研究室の扉に掲示します。自分が希望するゼミナール担当教員の掲示を必ず確認して、その指示に従って下さい。

■ 3月24日(土)～27日(火、12:00まで)：エントリーシート提出期間

- K's Life または 1号館 8階の商学部事務室前（または渡り廊下）にある箱からエントリーシートを入手し、エントリーシートを作成して下さい。
- 3月24日に8階の各教員の研究室の扉に「面接時間予約表」を掲示します。
- エントリーシートには、各教員の面接時間予約表に記載されている「面接時間予約番号」を必ず記載して提出して下さい。
- 作成したエントリーシートは、3月24日～27日12:00までの期間内に以下の場所に設置してあるエントリーシート投函箱へ提出して下さい。

投函箱設置場所	建物・階	受付時間	
		平日	土曜日
商学部事務室前	1号館8階	9:00～16:30	9:00～12:00
教務課	1号館1階	17:10～21:00	9:00～12:00

■ 3月28日(水)～31日(土)：面接日と結果発表

- 面接は上記の期間に教員の指示する方法で行われます。
- 3次選考の結果は、3月31日までに各教員の研究室の扉に掲示されます。

※※※※※※※※※ 3次募集終了後の追加募集について ※※※※※※※※※

追加募集が行われる場合には、研究室扉への掲示などで担当教員から別途指示があります。募集申し込みを希望する学生は、自分自身で問い合わせるなどして必ず確認して下さい。

ゼミナール選考の日程

2018年 3月						
日	月	火	水	木	金	土
11	12	13	14	15	16	17
※2次募集エントリーシート受付 (～16日)		2次募集面接方法の掲示		学位授与式		
18	19	20	21	22	23	24
※2次募集面接期間 (～23日)			春分の日	2次募集結果発表 3次募集有無の発表と詳細掲示		※3次募集エントリーシート受付
25	26	27	28	29	30	31
※3次募集エントリーシート受付 (27日12:00まで)			※3次募集面接期間(～31日)		3次募集結果発表 追加募集実施の有無の発表と詳細掲示	

エントリー手順と注意事項

～ エントリーシート作成・面接予約の手引き ～

【エントリー手順】

- ①「エントリーシート」(下左)に、志望ゼミナール名、氏名(フリガナ)、性別、所属、学年、学籍番号、ゼミナール志望動機、自己PRを記入する。
- ②志望ゼミナールを担当する教員の研究室扉に掲示してある「面接時間予約表」(下右)に、学籍番号を記入して面接予約を済ませる。
- ③面接予約をした時間帯の面接予約番号をエントリーシートに記入。
- ④作成したエントリーシートをエントリーシート投函箱に投函して提出(詳細は前ページ)。

「エントリーシート」

提出日：平成 年 月 日

平成30年度 商学部ゼミナール〇 エントリーシート

必ず「ボールペン」で記入して下さい!!!!

志望ゼミナール名	ゼミナール	フリガナ 氏名	性別	男 女
面接予約番号 (例：A-01)		所属	学部	学科
		学年	年	学籍番号

ゼミナール志望動機

自己PR(取得した資格・語学試験成績や特徴など)

※ 志望ゼミナール名の記載は「無効」となります。(たとえ志望動機欄にゼミナール名の記載があっても無効です)
 ※ 各研究室に掲示してある面接予約表に記載してある「面接予約番号」を必ず記載して下さい。
 ※ 提出場所：商学部事務室前の提出用Box(17:10～21:00は1階教務課前)
 ※ 応募締切：1次募集 平成29年12月22日(金) 16:30まで
 2次募集 平成30年3月16日(金) 16:30まで
 3次募集 平成30年3月27日(火) 12:00まで

「面接時間予約表」

平成30年度 ゼミナールI・II 面接時間予約表
(1次募集)

【連絡事項】

- ①表に示された時間帯にゼミI(新2年生)・ゼミII(新3年生)の面接を行います。
- ②希望する時間に先着順で学籍番号を記入してください。とくに指定がない限り、二重の記入はご遠慮ください(一つの欄に2名以上記入されていた場合、1番目の人のみ予約されたとみなします)。
- ③面接時間表の予約は1人1席(時間数)のみです(複数時間帯の予約は禁止します)。
- ④必ず予約した時間帯の「予約番号」をエントリーシートの「面接予約番号」欄に記載し、エントリーシートを提出してください(記載のないものは原則「無効」とします)。
- ⑤表の時間帯ではどうしても都合がつかない(講師のない時間帯が全て予約で埋まっているなど)学生は、直接、担当教員にアポイントを取るようしてください。

※面接希望時間は、なるべく早い時間帯から記入するようにしてください。

※複数のゼミナールに重複してエントリーした学生は1次募集「失格」とします。

月・日(曜日)	場 所	面接予約番号	時 間	学 籍 番 号
1月10日 (水)	研究室	A-01	10:00～10:15	
		A-02	10:15～10:30	
		A-03	10:30～10:45	
		A-04	10:45～11:00	
		A-05	11:00～11:15	
		A-06	11:15～11:30	
		A-07	11:30～11:45	
		A-08	11:45～12:00	
		A-09	13:15～13:30	
		A-10	13:30～13:45	
		A-11	13:45～14:00	
		A-12	14:00～14:15	
		A-13	14:15～14:30	
		A-14	14:30～14:45	
		A-15	14:45～15:00	
		A-16	15:00～15:15	
		A-17	15:15～15:30	
		A-18	15:30～15:45	
		A-19	15:45～16:00	
		A-20	16:00～16:15	
		A-21	16:15～16:30	
		A-22	16:30～16:45	
		A-23	16:45～17:00	

【注意事項】

- ※エントリーシートの必要記入事項(整理番号を除く)はすべて記入して下さい。
→ 記入漏れがあったものはエントリー無効となる場合があります。
- ※複数のゼミナールにエントリーする「重複エントリー」が発覚した場合、その募集エントリーは無効となります。

平成30年度 商学部 観光産業学科 ゼミナール I (新2年生) 募集一覧表

「選考方法」について別途連絡事項がある場合は、平成30年3月12日(月)以降、各研究室の扉に掲示されます。

学科	氏名	選考方法	面接会場	その他連絡事項(持参物)等	募集人数
観光産業学科	大方 優子	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参	5~6名程
観光産業学科	千 相哲	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参	2~3名程
観光産業学科	高橋 公忠	面接及び書類審査	研究室	詳細は後日、研究室ドアに掲示します。	5名程
観光産業学科	高橋 誠	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参	4~5名程
観光産業学科	田代 雅彦	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参	5~6名程
観光産業学科	平山 昇	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参	5名程
観光産業学科	室岡 祐司	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参	7名程

目 次

<商学部 観光産業学科 ゼミナール I > (50 音順)

➤ 大 方 ゼミナール	1
➤ 千 ゼミナール	2
➤ 高 橋 (公忠) ゼミナール	3
➤ 高 橋 (誠) ゼミナール	4
➤ 田 代 ゼミナール	5
➤ 平 山 ゼミナール	6
➤ 室 岡 ゼミナール	7

大方ゼミナール I

◎演習テーマ

観光する人の心理・行動

担当教員： 大方 優子

担当科目： 異文化コミュニケーション論、観光心理学
観光マーケティング論、観光行動論

演習概要、演習計画

- ◆ 本ゼミナールでは、大学生としての「研究力」【①疑問を持つこと、②とことん調べること、③論理的に考えること、③わかりやすく表現すること】を徹底的に鍛えます。
- ◆ 観光（観光する人の心理・行動）をテーマにしたグループ研究を中心に進めます。また、2～4年合同でゼミを行うこともあります。毎週のゼミには、他学年が自由に参加できるようなスタイルをとっています。
- ◆ 研究成果を学内外で積極的に発表します。これまで出場した主な大会は以下の通りです。
 - 東北アジア観光学会主催 大学生国際発表大会（韓国で開催）
 - 日本旅行業協会(JATA)九州支部主催 旅行企画提案コンテスト
 - 日本観光研究学会九州韓国南部支部主催 大学生発表論文大会
 - 商学部グループ研究発表会

教科書・参考文献

・適宜、指示します。

履修しておくことが望ましい科目

・観光関連科目

受講希望者への要望 【必ず読んでください！】

- ◆ とことん議論し、真剣に研究に取り組むのが本ゼミナールの特徴です。毎年何人か脱落者も発生しますので、とにかく根性のある人のエントリーをお待ちしています。「何となく楽しそう～」と思っている人、楽に単位がとれば良いという考えの人、また友達と一緒にだからという理由でゼミを選ぶ人にとっては、正直キツイと思いますので気を付けてください。
- ◆ できれば事前にゼミの見学、または相談に来ることをおすすめします。今年度は以下のスケジュールで運営しており、いつでもオープンにしていますので、どうぞ気軽にのぞいてみてください。入退室自由です。

火曜（2限） ゼミナールI @N603
水曜（4限） ゼミナールII @N615

上記の時間帯に合わない場合は、いつでも気軽に研究室（1号館8階S801）を訪ねてください。

千ゼミナール I

◎演習テーマ

訪日外国人旅行者の受入と観光まちづくりの実践研究

担当教員：千 相 哲

担当科目：観光学入門、観光学基礎論、観光地域事業論（柳川）、
観光インターンシップ（長期）、国外観光研修 B、
日韓観光振興論、観光振興プロジェクト演習（志賀島）

演習概要、演習計画

このゼミでは、「訪日外国人旅行者の受入と観光まちづくりの実践研究」をテーマに九州の観光地域の活性化について研究する。

【前期】

- ・九州のインバウンドについて学ぶ。
- ・地域の観光客受け入れ状況と活性化の取り組みの基礎を学ぶ。
- ・「観光まちづくり」や「観光活性化」の事例研究と研究の視点について学ぶ。

【後期】

- ・外国人観光客の受入と観光まちづくりとの関係性について考察する。

ゼミの一環として、外国人観光客を積極的に受け入れている観光地を取り上げ事例研究を行う。その際にアンケート調査に必要な調査票の設計、パソコンを使った集計と基礎的な統計、調査報告書の執筆などの演習を行う。また、夏季ないし秋季の休業期間中に 2～3 日間の学年合同合宿（海外を含む）を行う。

このゼミを通して参加者が自主的に研究する能力、研究成果を他者に伝える能力、他者の見解を正しく受け止める能力、見解が異なる場合に理解の運びによって議論を戦わせることができる能力など、社会生活で要求される基礎・研究能力と意思疎通の能力を身につけることができる。

評価は、ゼミナールの活動（個人能力及び対人能力の向上）、レポートの完成度などを総合して行う。

教科書・参考文献

授業中に適宜指示する。

履修しておくことが望ましい科目

観光関連科目

受講希望者への要望

自主的に学習し、自分の潜在能力を発見し、向上しようとする意識と意欲がある人を歓迎。

高橋（公忠）ゼミナール I

◎演習テーマ

企業の社会貢献活動から世界を見る ～SDGs からの検討～

担当教員：高橋 公忠

担当科目：学生サポーター、ソーシャルスキルワーク、会社法、コーポレート・ガバナンスと法

演習概要、演習計画

<ゼミのねらい>

周りの人の発言を理解する力、また自分で考えてそれを表現する力、さらに他の人を説得する力とともに、積極的に社会に出て行動する勇気がなければ、就活だけでなく、社会人になっても活動できる世界は狭いものになってしまうでしょう。

そこでゼミ活動を通じて、少しずつ、そのような社会人基礎力と社会的な視点で物事を見る目の両方を身につけてもらいたいと考えます。

<研究対象>

キーワードはSDGsと企業活動です。

2015年9月、全国連加盟国193国は、より良き将来を実現するために今後15年かけて極度の貧困、不平等・不正義をなくし、私たちの地球を守るための計画「アジェンダ2030」を採択しました。この計画が「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）」です。

どのような企業でも社会に役立たねば存在意義はありません。企業のホームページでは、企業の社会的責任（CSR）や社会貢献活動が必須項目です。震災への義捐金の提供、スポーツイベントや芸術・教育活動への支援、従業員のボランティア活動等の社会貢献活動のほか、例えば自動車産業の環境対策車の開発のような本業に結び付いた社会貢献活動、あるいは社会貢献自体を目的とした企業も目立ってきています。

SDGsの視点から、人々を幸せに結びつく社会活動や社会貢献、さらに地域活性化や地球環境問題について考えてみませんか。

<研究方法>

- 1) 人の話を聞き、理解し、自分の考えと比較しながら発言できなければ、議論や共同作業は成り立ちません。そこで前期は種々のテーマでスピーチやディベート・話し合いの練習をします。
- 2) その後、テーマを絞りながら、資料収集とその発表作業を行います。
- 3) 具体的な情報収集は、新聞・雑誌・書籍・ビデオ・インターネット等で行なったり、また現地調査や電話・メールでのインタビュー、アンケート調査等の手段が考えられますが、収集した情報（資料）はレジュメ（配布資料）やパワーポイントに編集し、ゼミの場で報告・討論するという手順です。
- 4) 研究の結果は、12月に研究発表会で報告してもらおう予定です。

<諸活動>研修旅行等の学外活動の詳細は4月に検討します。

教科書・参考文献

必要に応じて指示。

履修しておくことが望ましい科目

関連する科目すべて。

受講希望者への要望

- (1) 「会社法(企業組織と法)」もなるべく履修してください。
- (2) 両学科、商2部とも内容面での支障はありません。
- (3) 高橋ゼミについて質問等がありましたら、高橋研究室(8階N804)を訪ねてください。

高橋（誠）ゼミナール I

◎演習テーマ

交通事業者の営業戦略に於ける「観光」を考える

担当教員：高橋 誠

担当科目：九州観光学・観光交通論・演習プロジェクト

演習概要，演習計画

- 本ゼミナールでは、観光地としての九州の特性を考え、広域に点在する観光地を効果的に結ぶ交通機関の役割や交通事業者の「観光」に対する取り組みについて事例研究を通して検証します。
- 交通事業者の営業戦略に於いて「観光」はどのような位置づけとなるのかを考え、交通事業者の営業施策に、「何故？」と疑問を抱き、徹底的に調査して、その施策を理解することで、交通事業者の意図を考えます。
- 「疑問を抱く → 調べる → 仮説を立てる → 検証する」のサイクルを繰り返し、実践的な考え方が身につくようになって欲しいと思います。
- 年に数回は企業の担当者を招き（または訪ね）、直接疑問をぶつける機会を設ける予定ですが、ゼミ参加者の習熟度によっては予定変更もあります。

教科書・参考文献

- ・特にありませんが、毎月1冊以上の関連図書を読むことをノルマとします。

履修しておくことが望ましい科目

- ・観光関連科目

受講希望者への要望

マニア向けのゼミではありません。

単なる「鉄道好き」「航空機好き」といった動機では脱落します。

田代ゼミナール I

◎演習テーマ

地域振興の手段としての観光

担当教員：田代 雅彦

担当科目：地域研究入門、地域産業基礎論、観光地理学入門、観光地理学、観光地域共創プロジェクト

演習概要、演習計画

- 本ゼミナールでは、地域振興の手段としての観光について、地方自治体の視点から、また観光地理学の視点から基礎的な理解を深め、研究手法を学ぶことを目的とします。学内でのグループワークが中心です。
- 前期は、市町村を舞台とする地誌学的な演習です。まず、数人で構成されるグループに分かれ、各グループで国内のある市町村を選定します。その市町村の概要や歴史、産業などの動向を整理した上で、その市町村の観光資源や観光振興への取組、課題について調査研究し、それらを取りまとめて発表します。
- 後期は、観光に関するテーマごとの系統地理学的な演習です。数人で構成されるグループに分かれ、観光に関連するテーマ、事象、地名ではないキーワードを選定します。そのテーマや事象の定義、概要、ルーツや発展過程を研究したり、類似の事象や類似地域の比較研究を行ったりします。そして、それらを取りまとめてグループごとに発表します。
- なお、前期、後期とも、基本的に図書館やインターネットなどから得られる文献情報、統計情報を中心に調査研究を行います。
- また、文章力を高めるため、期間中に数回、1,000字程度の作文（エッセイ）を執筆、添削指導を受けてもらいます。
- 1年間のいずれかの時期に、日帰りまたは1泊2日のゼミ旅行を行う場合があります。
- なお、ゼミの内容は、多少変更する場合があります。

教科書・参考文献

高校地図帳

履修しておくことが望ましい科目

観光学基礎論、地域研究入門、観光地理学入門、観光地理学

受講希望者への要望

- 毎回ゼミに出席してくれる人で、ゼミの進行や他のゼミ生の学習意欲を妨げない人、何か質問されたら反応してくれる人を歓迎します。

平山ゼミナール I

◎演習テーマ

GLOCAL (=GLOBAL+LOCAL) な視点と行動力を身につける

担当教員：平山 昇

担当科目：社会学基礎論、特別講義（英語特別クラス）
など

演習概要，演習計画

GLOCAL という言葉を知っていますか？ これは GLOBAL（世界）と LOCAL（地域）を結びつけた言葉です。「世界」と「地域」の両方を視野に入れて、“Think globally. Act locally.”（世界規模で考え、地域で行動する）を合言葉に、GLOCAL な視点と行動力をゼミの仲間たちと一緒に身につけていきませんか？ 具体的なゼミ・ポリシーは以下の通りです。

GLOBAL !!

せっかく大学に入ったのに、自分の国の学生しか友人がいないなんて、もったいない!! 平山ゼミは毎年「国際交流」を実践します!! ただし、現時点で英語が苦手でも心配ありません。

（例）米国サイプレス大学派遣留学生と交流（毎年6月に約1か月の日程で九産大にやってきます。日本語・日本文化を学ぶ学生さんたちですから、英語が苦手でも楽しく交流できます！（写真＝平山ゼミ&サイプレス大学交流会の様子）



LOCAL !!

自分の生まれ故郷や九産大の周辺地域（香椎／福岡／九州）といった身近な「地域」の現状と課題について、GLOCAL な視点から学び、「地域」と「観光」の関わりを研究していきましょう。資料（図書・論文・新聞など）から学ぶだけでなく、「地域」の課題に観光を通じて意欲的に取り組んでいる現場でのフィールドワーク（長崎県小値賀島での合宿）も実施します。

その他

- ◆ 活動&研究の成果は「商学部グループ研究発表会」で発表します。
- ◆ 「みんなで英語を頑張ろう！」をゼミの合言葉にします。現時点では英語が苦手でも全然 OK!! これからゼミのみんなと一緒に頑張りましょう^^

教科書・参考文献

新聞を必ず講読してもらいます。その他は、開講後に必要に応じて指示します。

履修しておくことが望ましい科目

とくにありませんが、ゼミ活動に支障のないように、必要な単位はきちんととっておくこと。

受講希望者への要望

- ◆ けっこうハードなゼミです。ゼミは議論が白熱して延長することもありますし、学外でのフィールドワーク合宿もあります。「興味」と「覚悟」がある人だけエントリーしてください。
- ◆ TOEIC(L&R)スコア 470 以上、英検 2 級以上取得の学生は、証明する書類を提示すれば、無条件で合格とします（面接なし）。ただし、現時点で英語が苦手な人もどうぞ遠慮せずにエントリーしてください（英語力の低さを理由に不合格とすることはしません）。

室岡ゼミナール I

◎演習テーマ

「地域連携」による観光振興・地域活性化と旅行業の役割

担当教員：室岡 祐司

担当科目：旅行業基礎論、旅行業経営論、観光プロデュース論、観光産業論

演習概要・演習計画

日本は「観光立国」の実現へ向け、「観光」を切り口とした交流人口拡大や観光まちづくりによる地域の活性化を進めています。そのキーワードは「住んでよし、訪れてよし」。住みよく、誇り（国・地域の光）ある地域は、訪れたい観光地でもあり、そこには産業（民間）、行政、大学、地域住民等の「地域連携」が欠かせません。当ゼミナールでは、「地域連携」による観光振興・地域活性化をテーマに、九州や国内外の取り組み事例を研究します。また、観光振興の中心的役割を担うべき旅行業についても研究対象としています。

【演習計画】

- ① 毎週、ゼミのテーマに関する書籍や新聞記事の発表・意見交換を行い、知識を増やします。
- ② 国内外の観光振興・地域活性化の事例について多くの情報を収集します。
- ③ 最終的に調査する地域や旅行業の取り組みを絞り、情報収集、調査、提案、発表までの一連の研究に取り組みます。年度末に2～4年生合同のゼミ研究発表会を行います。
- ④ 研究発表は、学内のみならず、学外の JATA(日本旅行業協会)の旅行企画コンテストや大学生論文発表大会への参加なども積極的に行います。
- ⑤ その他、自治体や大手旅行会社が取り組む観光・地域活性化事業の視察や調査、モニターツアー参加等、事業との連動・連携も都度協議の上、検討します。

【これまでのゼミ I での研究対象・テーマ（参考）】

- 八代市の廃棄い草を活用した商品開発プランの検討（JTB九州、DMO やつしろとの連携）
- JATA 九州支部インバウンド旅行企画コンテスト優秀賞（知覧茶を活用したインバウンド誘致）
- 観光地評価の世界的動向と日本の現状
- JATA 九州支部海外旅行企画コンテスト参加（優秀賞・審査員特別賞受賞）
- 糸島市の農家レストランのヒアリング調査（糸島市）
- JR 九州のディスティネーション・キャンペーンヒアリング調査（JR 九州本社）
- 別府アートプロジェクト調査（別府アートプロジェクトへのヒアリング調査）
- カジノ誘致（ギャンブル依存症、経済効果）
- 大学生の一人旅の国際比較
- 観光地型商店街の現状と活性化へ向けた提案
- ゆるキャラの観光利用 など

教科書・参考文献

- 観光振興・地域活性化の取り組み事例についての資料や旅行業の文献をその都度活用します。

履修しておくことが望ましい科目

- 旅行業基礎論、観光産業論他、観光関連科目全般

受講希望者への要望

- 旅行が好きな方、地域再生・活性化に興味がある方、新しいことにチャレンジし、粘り強く前向きに取り組む意欲がある方を歓迎します。